

# 青学を起点とし「平和な未来づくり」を目指す NPO と会社経営をする一卒業生の話

相模原キャンパス オンライン配信

日時：2023年 **10月20日** (金)  
**17:00-18:30**

場所：青山学院大学 青山キャンパス

(教室は10月初頭、センターのWebページでお知らせします)

講師：神直子氏

(NPO 法人ブリッジ・フォー・ピース代表理事  
株式会社ディーブ・ジャパン代表取締役)

モデレーター：西本 あづさ (青山学院大学文学部教授)



## 神直子 (じん なおこ) 氏プロフィール

1978年生まれ。2000年にフィリピン体験学習に参加(故・雨宮剛青山学院大学名誉教授主宰)した際、未だ戦争の傷が癒されないたくさんの人々と出会い「戦争はまだ終わっていない」と実感。一般企業人事企画本部勤務後、NPOに転職。2004年にブリッジ・フォー・ピースを立ち上げ、現在、代表理事を務める。2017年、平和を企業理念とする株式会社ディーブ・ジャパン代表取締役就任。Global Studies Cafe(愛知県岡崎市)を運営中。

著書に『ビデオ・メッセージでむすぶアジアと日本—わたしがやってきた戦争のつたえ方』(梨の木舎)、共著に『私たちが戦後の責任を受けとめる30の視点』(合同出版)、『未来の入会(いりあい)コミュニティ・コモン—市民がつくる地域力拠点 街を元気にする事例』(NPOメディアネットワーク)。

## 参加方法：事前申込制・参加費無料

(どなたでもご参加できます)

お申し込み：

右QRコードまたはセンターのWebページのニュースのリンクから、申込フォームにアクセスしてください。

問い合わせ先：

agu-smcgs@aoyamagakuin.jp



上：ブリッジ・フォー・ピース(BFP)の活動  
(フィリピン人の戦争体験者に活動を説明する神直子)

中：BFP(ビデオモニターで元日本兵の証言に見入るフィリピンの人々)

下：Global Studies Cafe(アメリカから大学生グループを招聘)

青学を起点とし「平和な未来づくり」を目指すNPOと会社経営をする一卒業生の話

---

NPO 法人ブリッジ・フォー・ピース代表理事/株式会社ディープ・ジャパン代表取締役 神 直子

2023年10月20日(金) 17:00-18:30

[講演者プロフィール]

1978年生まれ。2000年にフィリピン体験学習に参加(故・雨宮剛青山学院大学名誉教授主宰)した際、未だ戦争の傷が癒されないたくさんの人々と出会い「戦争はまだ終わっていない」と実感。一般企業人事企画本部勤務後、NPOに転職。2004年にブリッジ・フォー・ピースを立ち上げ、現在、代表理事を務める。2017年、平和を企業理念とする株式会社ディープ・ジャパン代表取締役就任。Global Studies Cafe(愛知県岡崎市)を運営中。

著書に『ビデオ・メッセージでむすぶアジアと日本—わたしがやってきた戦争のつたえ方』(梨の木舎)、共著に『私たちが戦後の責任を受けとめる30の視点』(合同出版)、『未来の入会(いりあい) コミュニティ・コモン—市民がつくる地域力拠点 街を元気にする事例』(NPOメディアネットワーク)。

[講演要旨]

本講演では、2000年に青山学院大学文学部英米文学科を卒業した話者が、どのような経緯でNPO法人を立ち上げ、さらにコロナ前に会社を設立し、しかも両方とも「平和な未来づくり」を目指して運営しているかをお話します。

卒業間近の2000年3月、卒業旅行を兼ねて渡航したフィリピンで、「日本人なんか見たくなかったのに、なんで来たんだ」と夫を太平洋戦争で亡くした女性に詰め寄られた。19歳から21歳までの大学生7人が参加した体験学習であったが、誰一人として言葉を返せる者がいなかった。自分がやっていない、知らない時代のことだという説明は、対外的に何の意味もないことを悟らざるを得なかった。一歩日本の外へ出ると、「あの時の日本人」の子孫という目で見られてしまうことがあり、それが国際社会なのだということを知ることとなった。

その後、過去に犯した罪を深く後悔する元日本兵たちに出会い、彼らの声を現地に届けようとブリッジ・フォー・ピースを2004年に設立。現在もライフワークとして活動を継続している。さらに、平和な未来づくりには国際交流が欠かせないとの思いから、愛知県岡崎市でGlobal Studies Cafeという英会話カフェをオープンし、英語を教える傍ら、「旅行は平和産業」という確信の下、さまざまな国の人たちの来日をコーディネートして、世界中の人々と繋がっていくべく日々奮闘している。

大学生、大学院生の皆さんの将来を見据え、女性が自分の信念や理想に基づいて人生を形づくっていくことを考察する。